

蕨手刀

わらびてとう

恵庭市指定文化財

所有者 恵庭市教育委員会

指定年月日 平成5年3月26日

所在地 恵庭市郷土資料館

年代 擦文時代前期

(さつもんじだいぜんき)

<8世紀~9世紀>

鉄製品 長さ:57.40 cm

(刀身 44.30 cm)

幅:4.14 cm

厚さ:1.17 cm

重さ:914.90g



柄頭(つかがしら)が春の蕨(わらび)の芽に似ていることから蕨手刀と名づけられました。
昭和35年、柏木町の畑地で出土した資料です。「北海道式古墳」が発見された柏木東遺跡
に近いことから古墳との関連性も指摘されています。

鞘(さや)の木質部分が微かに刀身部に残り、柄(つか)には茎(なかご)に直接巻きつけた
紐の跡が認められ鐔(つば)の保存状態も良好です。